



GUNDAM DEATHSCYTHE HELL
MOBILE SUIT XXXG-01D2







ワンポイントステップ ~One point step~

顔を中心にスミ入れしてみよう!

ガンダムマーカー/スミ入れ用(別売り)などを使用して、キットのスジ彫りを塗装することで、立体感、リアル感が増します。スミ入れするだけで見違えるような仕上がりになります。



デュオ・マックスウェル

-  顔などはた色部はた色(100%)
-  髪の色
ミッドストーン(50%)
+ウッドブラウン(50%)
-  靴の色
ウッドブラウン(100%)
-  服の色
ミッドナイトブルー(90%) + ホワイト(10%)
-  インナーの色
モンザレッド(100%)
-  袖の色
ホワイト(100%)



PAINTING [塗装]

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

- ガンダムデスサイズヘルEW 指定色**
-  本体肩などの塗装色
ホワイト(95%) + ニュートラルグレー(5%)
 -  マスクなどの塗装色
ホワイト(80%) + ニュートラルグレー(10%)
+ パープル(10%)
 -  本体脚、腕部などの塗装色
エアクラフトグレー(50%) + グレー(40%)
+ パープル(10%)
 -  胸部などの塗装色
ブラック(75%) + ミッドナイトブルー(20%)
+ パープル(5%)
 -  マントなどの塗装色
ブラック(100%)
 -  アンテナなどの塗装色
イエロー(60%) + ホワイト(30%) + オレンジ(10%)
 -  胸部ダクトなどの塗装色
レッド(70%) + あすき色(30%) + ホワイト(少量)
 -  武器などの塗装色
ニュートラルグレー(95%) + ブラック(5%)
 -  目などの塗装色
クリア(50%) + クリアブルー(40%)
+ クリアグリーン(10%)

●ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。
※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

© 創通・サンライズ
GUNDAM DEATHSCYTHE HELL
MOBILE SUIT XXXG-01D2

NEW MOBILE REPORT GUNDAM W ENDLESS WALTZ
XXXG-01D2 GUNDAM DEATHSCYTHE HELL 1/100 SCALE MASTER GRADE MODEL

GUNDAM-W
Endless Waltz



XXXG-01D2
「ガンダムデスサイズヘル EW」
1/100スケール
マスターグレードモデル



XXXG-01D2
「ガンダムデスサイズヘル EW」
1/100スケール
マスターグレードモデル

GUNDAM DEATHSCYTHE HELL XXXG-01D2
NEW MOBILE REPORT GUNDAM W ENDLESS WALTZ
XXXG-01D2 GUNDAM DEATHSCYTHE HELL 1/100 SCALE MASTER GRADE MODEL

NEW MOBILE REPORT GUNDAM W

MS Design

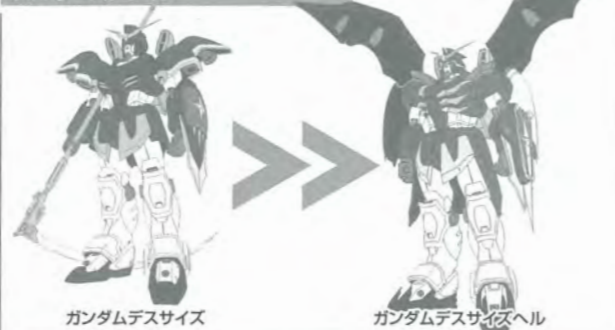
「TV版」デスサイズヘルと「エンドレスワルツ版」デスサイズヘル

『新機動戦記ガンダムW』に登場するガンダムのデザインには、TV版とEW版が存在する。TV版は大河原邦男氏がメカニックデザインを担当、EW版はカトキハジメ氏がTV版のデザインをリファインすることで生み出された。

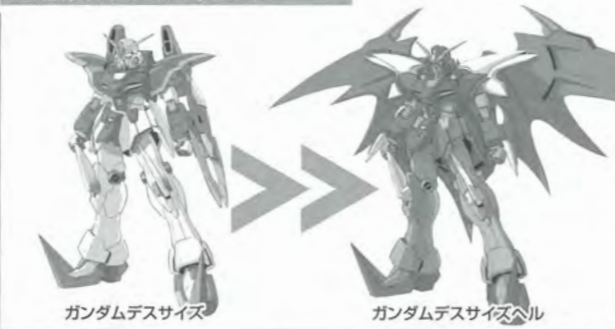
「ガンダムデスサイズヘル(EW版)」とは、OVA『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz(以下EW)』に登場するMSである。ただし、正式名称は「XXXG-01D2ガンダムデスサイズヘル」——TV版と同じである。では同じ「デスサイズヘル」の名を持ちながら、TV版とEW版でその形状が異なるのはなぜか？これはOVAがTV版の後日談を描いた作品であるものの、作品の世界観は同一ではなく、近い世界観を持つパラレルワールドであったことによる。つまりTV版とEW版は設定こそ同じくしているが、アナザーワールドのガンダムとして、その姿を変えているのだ。デュオ・マクスウェルの愛機ガンダムデスサイズヘルは、そのうちの1機である。そして、OVAではデスサイズヘルのベース機であるデスサイズは登場していないが、カトキハジメ氏はEWの世界観におけるデスサイズもデザイン。この機体は俗に「アーリーモデル」と呼ばれており、2010年9月には「MGガンダムデスサイズEW」として、キット化もされた。

「ガンダムデスサイズヘル(EW版)」はカラーリングやプロポーションを一新。ダークカラーを基調に、より鋭利なデザインへと変貌した。特に翼であり、本体を覆う鎧でもあるアクティブクロークの形状は大きく異なっており、その悪魔的なシルエットを強く印象付けている。また、TV版で左腕に装備されていたバスターシールドがEW版ではオミットされている点も特徴である。

TVシリーズデザイン



EW仕様(カトキハジメ)デザイン



EW版のクロークは、蝙蝠の翼をイメージさせる鋭利なシルエットが特徴。表面積が広く、クローズ状態では全身を覆っている。

Gundam W Story Playback

「オペレーション・メテオ」の本来の作戦内容は、数基のコロニーを地球に落下させ、その混乱に乗じ5機のガンダムで地球を制圧するというもので、その遂行には20億人以上の犠牲者を伴う非情なものであった。作戦発動の数刻前、生まれ育ったコロニーを犠牲にする作戦に納得できないデュオは、「相棒」を破壊して自らも命を絶とうとしていた。それを見越していたプロフェッサーGが、それを阻止して「デスサイズを盗め」「コロニーを落とさず、デスサイズと地球に降りろってのか?」無論、死神として「死神か…大量殺戮の英雄より、はるかにマシか」かくしてデュオはA.C.0195年、終わりの見えない戦いに身を投じた。その途中、幾度も傷付き、捕らわれ、出会い、別れ、「ガンダム」をも奪われてしまう。しかし、再びプロフェッサーGらの助力を得て「相棒」と共に地獄から蘇ったデュオは斬って斬って斬りまくる、かくして絶対平和が達成された…はずだった。A.C.0196年、紛争の火種は未だくすぶっていた。

1/100 ガンダムデスサイズヘル 1996年発売

A.C.0196年。かつての戦いから一年後。「戦争を完全に捨て去った世界にガンダムは不要」とのカトルの呼びかけに応じ、ヒイロとトロワは機体を送りつけ、デュオは自ら機体とともに脱走した。カトルとデュオは、五機の「ナタク」を除く4機のガンダムを廃棄資源衛星に乗せて太陽に向かう軌道に投入した。その矢先、マリメア軍がリリーナを拉致する。ガンダムの回収をカトルに任せ、ヒイロと合流したデュオは、マリメア軍の拠点のひとつである新造コロニー「X-18999」に潜入。黒幕デキム・パルトンの切り札である「コロニー落とし」を封じることに成功する。しかし、マリメア軍は新型MSサーベントの大軍をもって地球侵攻を開始。ブリュッセルの地球圏統一国家大統領府を制圧する。カトルが命懸けで持ち帰った「相棒」に乗り込んだデュオたちは、圧倒的に不利な戦いに挑むゼクス、ノインらと合流。「戦いを終わらせるための戦い」に再び身を投じるのであった。

1/100 ガンダムデスサイズヘルカスタム 1998年発売

組み立て前の基本説明

部品の向きに注意してください

※組み立て図中にVのついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。

1-1 BODY

〔ボディの組立〕



ガンダムデカールの貼りかた

①ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。

保護シート

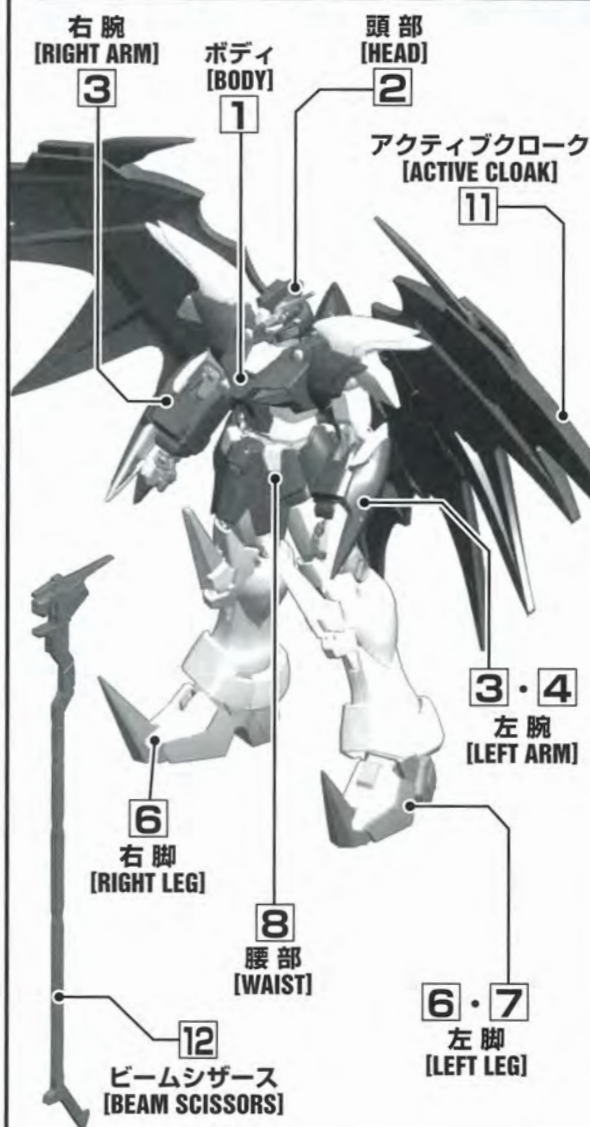


②保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。

③シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。

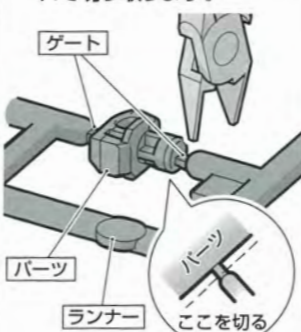
※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

説明書をよく読んで完成させましょう

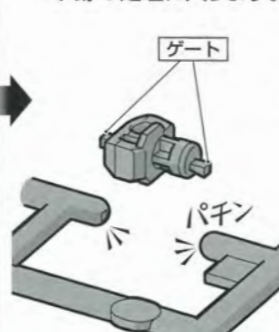


パーツの切り取りかた

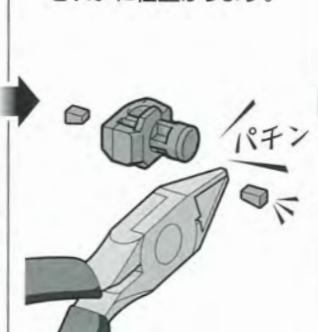
①まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。



②パーツを切り離して持ちやすくなったところでゲート跡の処理に入ります。



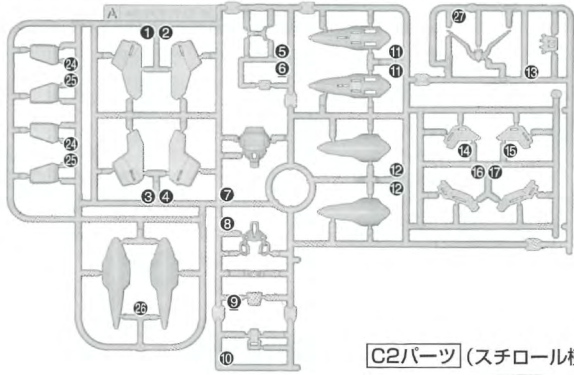
③ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



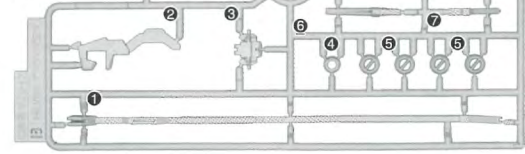
パーツリスト

(×印は使用しないパーツです。)

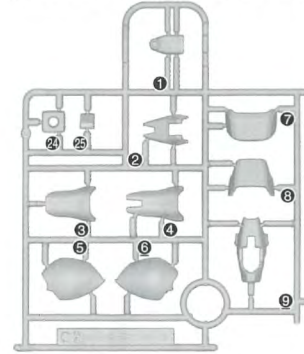
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



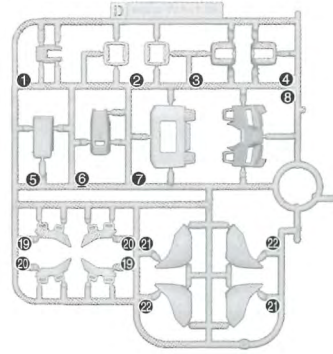
Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



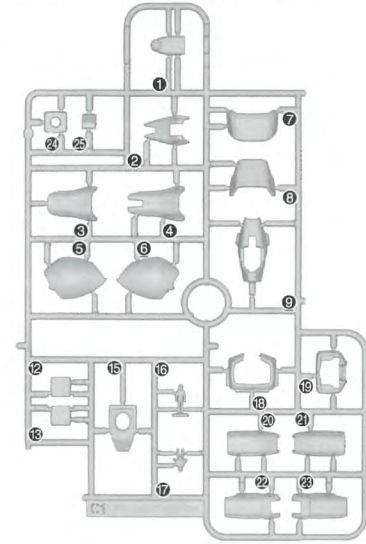
C2パーツ (スチロール樹脂: PS)



Dパーツ (スチロール樹脂: PS)



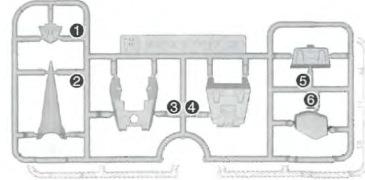
C1パーツ (スチロール樹脂: PS)



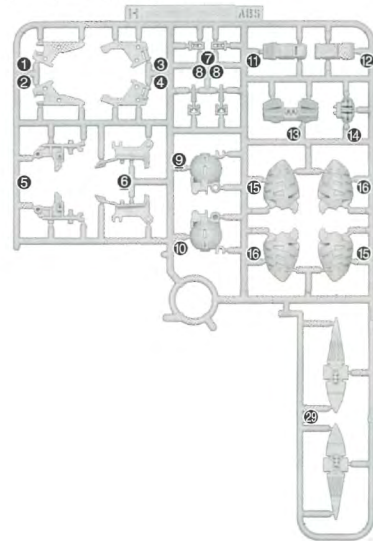
Eパーツ (スチロール樹脂: PS)



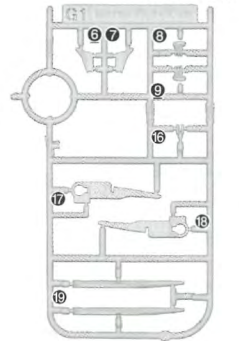
Fパーツ (×2) (スチロール樹脂: PS)



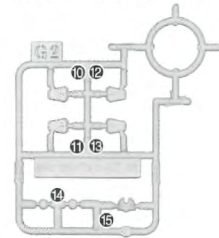
Hパーツ (ABS樹脂: ABS)



G1パーツ (スチロール樹脂: PS)



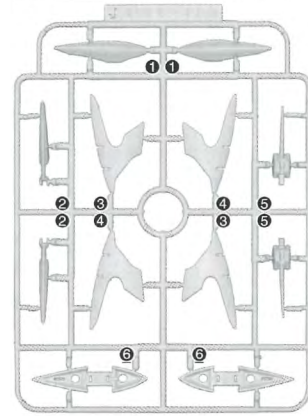
G2パーツ (スチロール樹脂: PS)



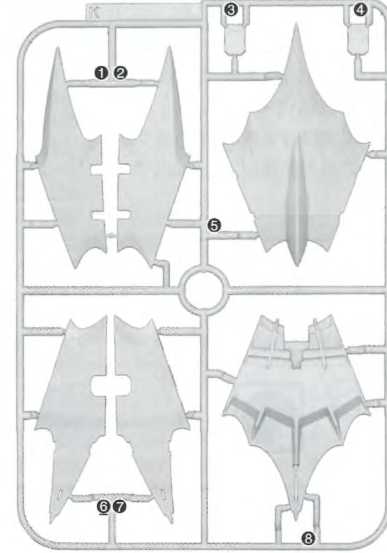
Iパーツ (ABS樹脂: ABS)



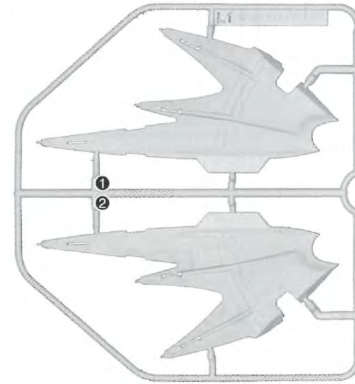
Jパーツ (スチロール樹脂: PS)



Kパーツ (スチロール樹脂: PS)



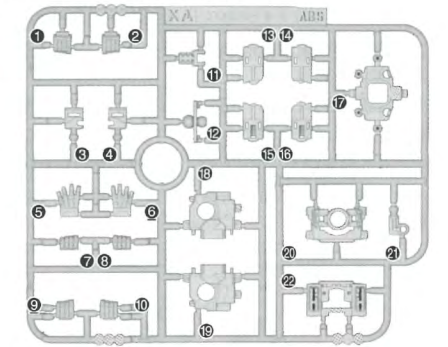
L1パーツ (スチロール樹脂: PS)



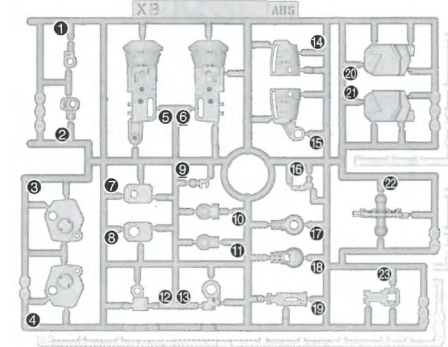
L2パーツ (スチロール樹脂: PS)



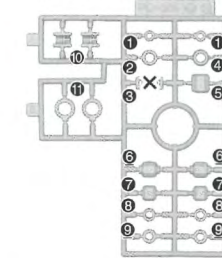
XAパーツ (ABS樹脂: ABS)



XBパーツ (×2) (ABS樹脂: ABS)



PC-205ABパーツ (ポリエチレン: PE)



カラーシール.....1枚
マーキングシール...1枚
ガンダムデカール...1枚

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

注意

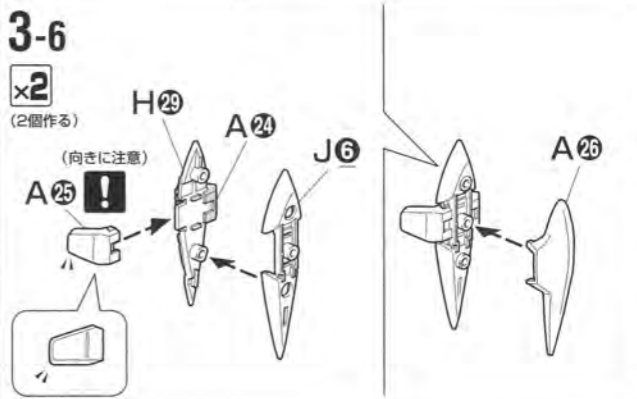
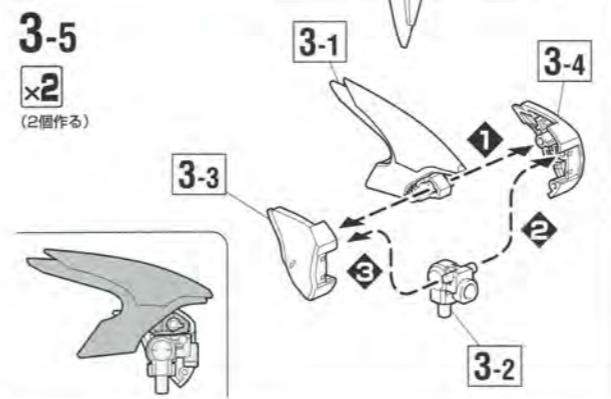
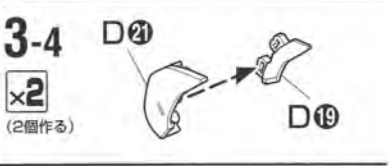
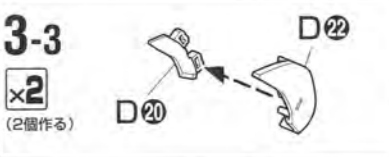
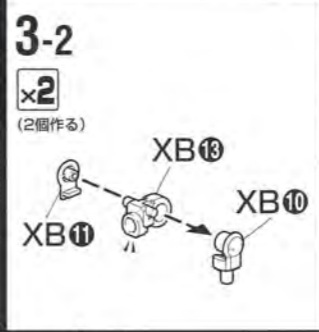
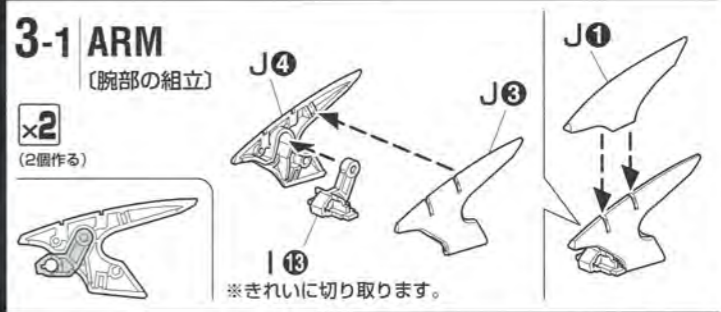
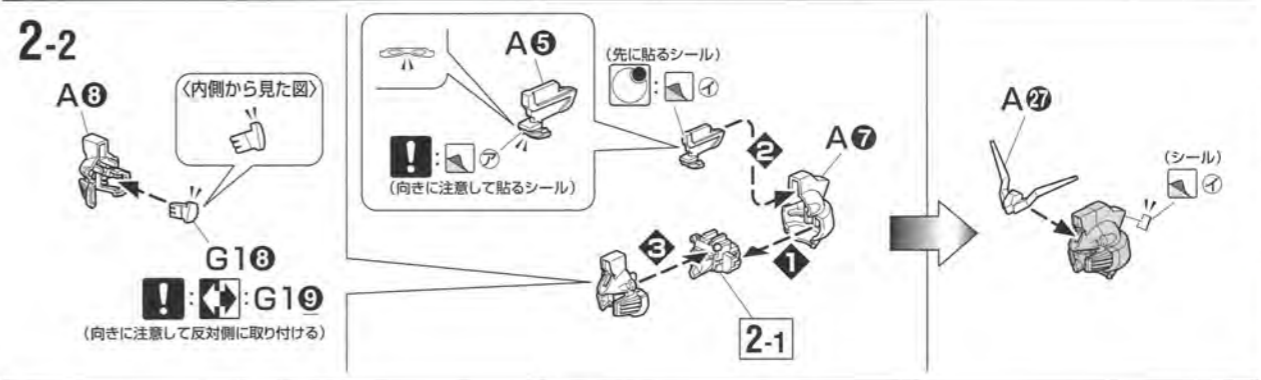
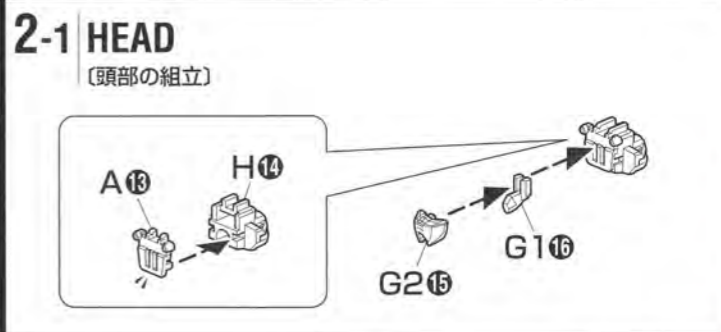
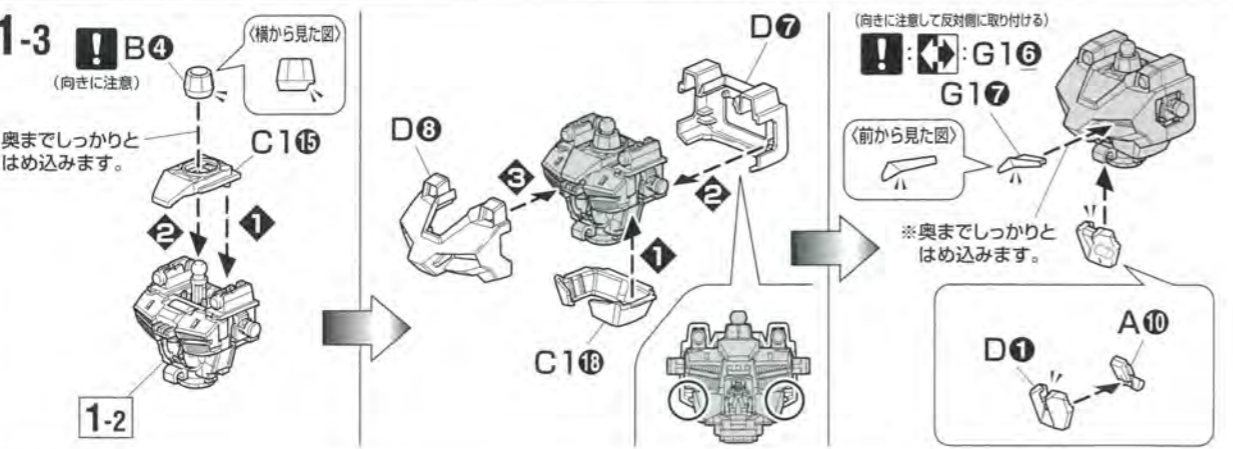
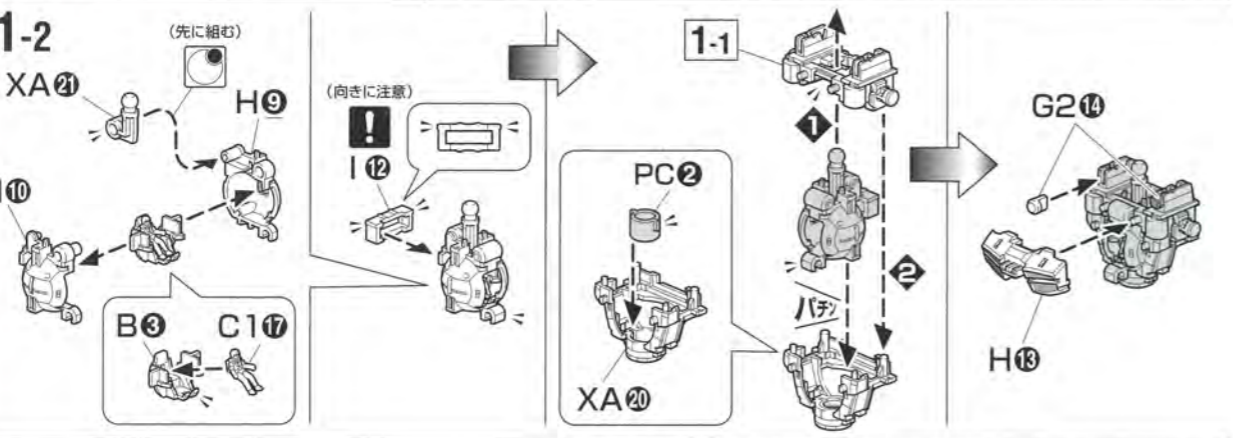
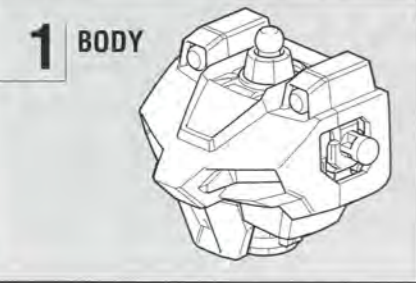
必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

・切り取る	・シールの番号	・パーツA	・反対側に取り付ける	・両側同じパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・どちらかを選んで取り付ける
・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・向きをかえす	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動かします	



3-7

(向きに注意)
x2 (2個作る)
XB12 **XB8**
XB7

3-8 RIGHT ARM

(右腕の組立)
3-7
XA15 (穴の大きい方)
XA16 (後に組む)
PC10 (向きに注意)
D4
D2
C10

3-9

3-5
3-8
3-5
C112 **XA3**
XB16
XA7
XA1 **XA5** (選んで取り付ける)
C124

4-1 LEFT ARM

(左腕の組立)
3-7 (後に組む)
XA14 (穴の小さい方)
XA16
PC10 (向きに注意)
D3
D2
C21

4-2

3-5
4-1
3-5
XA4 **C110**
XB16
XA8
XA2 **XA6** (選んで取り付ける)
C224

5 UPPER BODY

(上半身の組立)
2
1
3 **4** (長い方)
3-6
3-6
 ※奥までしっかりと
 はめ込みます。

6 RIGHT LEG 7 LEFT LEG

6-1 LEG

(脚部の組立)
x2 (2個作る)
XB20 **PC6** (後に組む)
H6 **XB21**
F3
F4 ※きれいに
 切り取ります。

6-2

x2 (2個作る)
F2 **H8**
F1
C12 (C22)
C125 (C25)
6-1
F6

6-3

x2 (2個作る)
XB14 **PC8** **XB15**
XB10 (後に組む)
XB10 ※きれいに
 切り取ります。
XB6

6-4

x2 (2個作る)
 (向きに注意)
 <前から見た図>
H7 !
H6

6-5

x2 (2個作る)
6-3
XB4
6-4
 ※穴に差します。

6-6

x2 (2個作る)
XB6 **PC7**
6-5
B6 (向きに注意して両側取り付ける)
H16 **H15** (反対側に取り付ける)

6-7

x2 (2個作る)
H16 **H15** (反対側に取り付ける)

GUNDAM W ANOTHER ASPECT

Gundam Deathscythe Hell

カトルの懸命な働きで辛うじて回収された廃棄資源衛星の中では、サンドロック改、ヘビーアームズ改、デスサイズヘルが出撃準備を終えていた。「ふたりとも、準備はいいですか?」「おおっ、いつでもいいぞ!!」「やはりオペレーション・メテオはこうあるべきだ」カトルの呼びかけにデュオとトロワが応じる。「いきます!!」サンドロックのヒートショベルが格納ブロックのシャッターを切り裂くと、3つの光が衛星から飛び立ち、眼下の地球目指して降下して行った。

— マリーメア軍がブリュッセルを制圧。大統領府奪還のため、正面から立ち向かっていたゼクスのトールギスⅢ、ノインのトラスは、無数に押し寄せるサーベントの大軍勢を前に劣勢を強いられていた。「限界か…」「さよならは言いませんよ、ゼクス」「当然だ!!」ふたりが意を決した次の瞬間、眼前のサーベントが数機、一度に撃破された。「何とか、間に合いましたね」顔れる機体の背後からサンドロックが現れ擬装用のマントを脱ぎ捨て、突如現れた新手を遠巻きに狙撃していた別のサーベントのセンサーは、その頭上に新たな機影の出現を告げる。と、振り向いた満月の中に浮かび上がったその影は、まるで悪魔のごとく黒い翼をうち広げるや、巨大な光の鎌を振りかざして躍りかかる。「地獄への道連れは、ここにある兵器と戦争だけにしようぜ!!」瞬間に3機のサーベントを斬り捨てたデスサイズは、次の獲物を求めてその身を翻す。



Operation Meteor

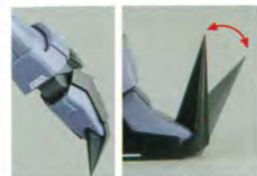
「残り250機、ひとり50機の割当だ。MSだけを始末するなら何とかなるだろう」トロワが冷静に現在の状況を告げる。極力、敵パイロットを傷つけないようにMSを撃破し続けるデュオたちは、圧倒的に不利な激戦の中で消耗して行った。「このオッ!!」ビームシザーズで何機打ち倒しても、雲霧の如く現れるサーベント部隊が続々と攻め寄せる。大統領府を目指して道を変えても、そこには新手のサーベントが待ち受けていた。「くそッ、次から次へと出てきやがる!!」歯がみするデュオはそれでも機体の破壊のみを頑に押し通し、サーベントの群れに呐喊する。自らも満身創痍のゼクスはガンダムのパイロットたちに撤退を勧告する。「撤退するくらいなら、最初っから逃げてるぜ。さすがにこのまま戦うのはキツイけどな!!」

降りしきる雪の中、サンドロックの刃は折れ、ヘビーアームズの弾は尽き、デスサイズのエネルギーも枯れ果てようとしていた。ノインもデュオらを気遣っている。それでもデュオは軽口を叩くのだった。「まあ、そんなに気にすんなよ。これでも負け続ける戦いは得意でねえ!」カトルもトロワも異存は無いようだった。だがしかし、間もなく彼らの機体はマリーメア軍に取り囲まれてしまう。「もうなんにも残ってねえ…、自爆装置であとの半分は掃除できるか…どうする?」いうまでもなく、命を奪う戦いを彼らは望んでいない。状況は絶望的であった。その時、大統領府の直上に白き翼をまとったMSが出現する!!

※写真はイメージです。

GUNDAM DEATHSCYTHE HELL XXXG-01D2

MG GUNDAM DEATHSCYTHE HELL MODEL DATA



プラモデルならではの伸びやかなシルエツトを再現するため、爪先を伸ばすことが可能。



大型のビームシザーズをスムーズに構えるために肩は引き出し構造を採用。



バンダイプラモデルアクションベース1(別売り)を使用しています。

デスサイズヘルの特徴とも言えるクロークを纏った姿は、スタイリッシュかつシャープな印象を与える。



GUNDAM DEATHSCYTHE HELL

メカ設定・モデリング監修
カトキハジメ

1996年のTV『新機動戦記ガンダムW』放映終了の翌年、OVA版『エンドレスワルツ』がリリースされた。間もなく、同作品登場MSの1/144および1/100スケールのプラモデルがロールアウト。いずれも傑作キットとして2011年現在も再販され続けている。

この度、「ガンダムデスサイズヘル(EW版)」のマスターグレード化にあたり、「月刊ガンダムエース(角川書店:刊)」本誌にもイラストを掲載している。カトキハジメ氏が自らプラモデルのデザイン、ギミックの検証を手がけている。『ガンダムW』の放映開始とともに誕生した「GW」ブランド15周年の技術とプライドを賭けて、今ここに「ガンダムデスサイズヘルEW」が「MG(マスターグレード)」として再臨する!!



メカ設定のフィードバック



「ガンダムデスサイズヘル(EW版)」の設定画稿。このイラストをもとにモデリングが進められていった。

Illustration: Katoki Hajime

▼アクティブクロークの可動ギミック。検討を重ねたギミックや形状を是非手にとって確認してほしい。



▲カトキハジメ氏によるCADデータへの形状修正の書き込み。細部までイメージを伝えられるよう細かな書き分けがなされている。

MS プラモデル化



Comic

「コミック」と「小説」で綴られる新たな GUNDAM W STORY が GUNDAM 4 にて始動。

シナリオ 隅沢克之
漫画 小笠原智史

A.C.195を装いも新たにコミックス化!!

A.C.0195年の「オペレーション・メテオ」に端を発する『新機動戦記ガンダムW』の物語が、装いも新たに生まれ変わる。この作品では、ガンダムパイロットの中でも、最も多くの面倒ごと巻き込まれ、あるいはその裏事情に通じているであろう「デュオ・マックスウェル」の視点を中心として物語が再構成されているのだ。キャラクターの描写はより綿密に、時代背景はより緻密に、メカニックデザインは「EW」版を基準として、TVシリーズでは描かれなかった側面からのエピソードも盛り込まれ、単なるリニューアルに止まらない物語が展開する。

著 隅沢克之
挿絵 あさぎ桜

A.C./M.C.で織りなす新たなStory!!

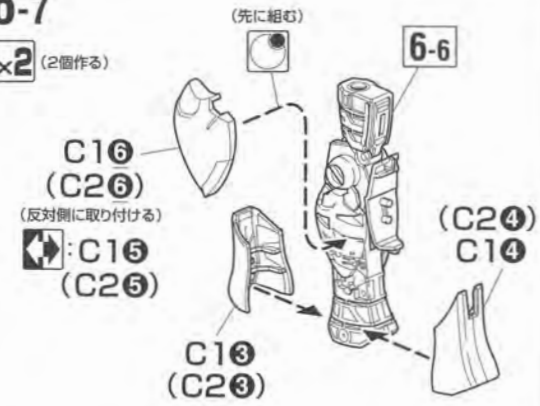
『新機動戦記ガンダムW』の過去と未来を行き来し、A.C.0195年の「オペレーション・メテオ」に至る過去の経緯や、イヴウォーの数十年後を描く壮大な物語。EW(エンドレスワルツ)のラストシーンで、テラフォーミング中の火星に旅立ったゼクスとノインのその後は…? 火星国家の樹立、そして未来のガンダムパイロットたちの姿が、複数のキャラクターの視点から描かれる。戦いから逃れられない人類の宿命は再び繰り返されてしまうのか? いままさに火星の砂漠に2機の「MS(モビルスーツ)」が降り立った。全身を覆う防塵マントの裾から、『白雪姫(スノーホワイト)』はビームソードを、『魔法使い(ワーロック)』はビームサイズを閃かせ、火星=マルス=戦の神の大地を揺るがそうとしていた……!!



Novel

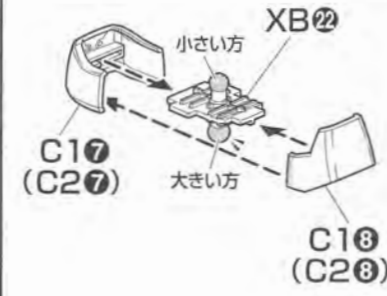
6-7

×2 (2個作る)



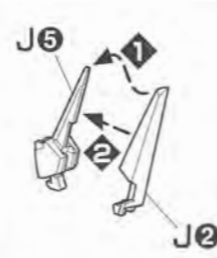
6-8

×2 (2個作る)



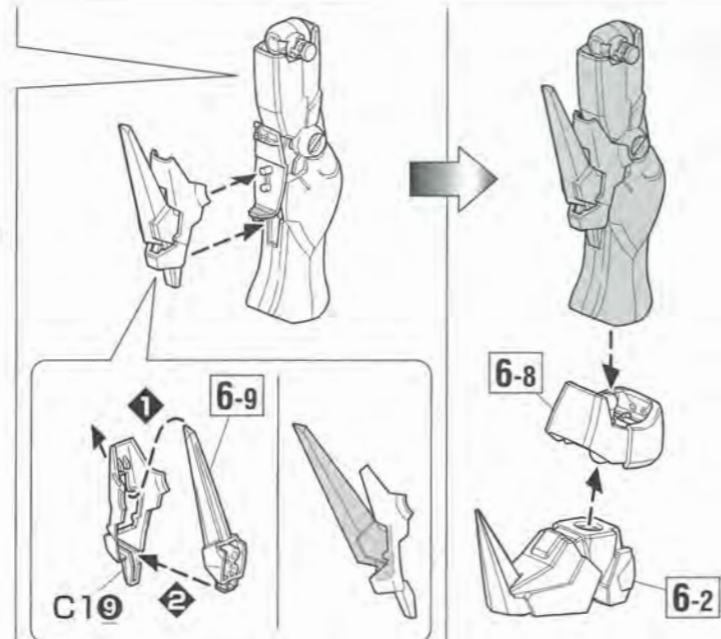
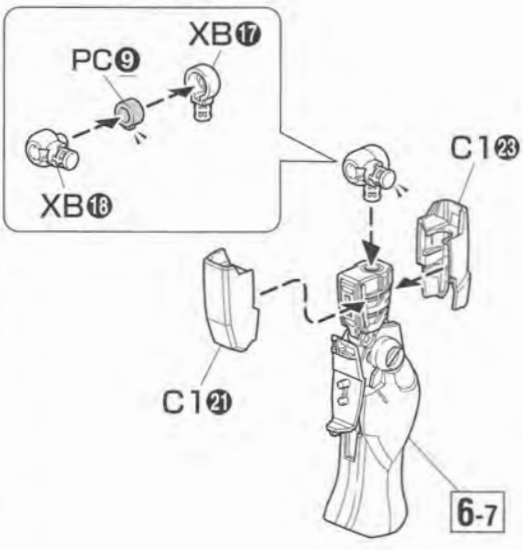
6-9

×2 (2個作る)



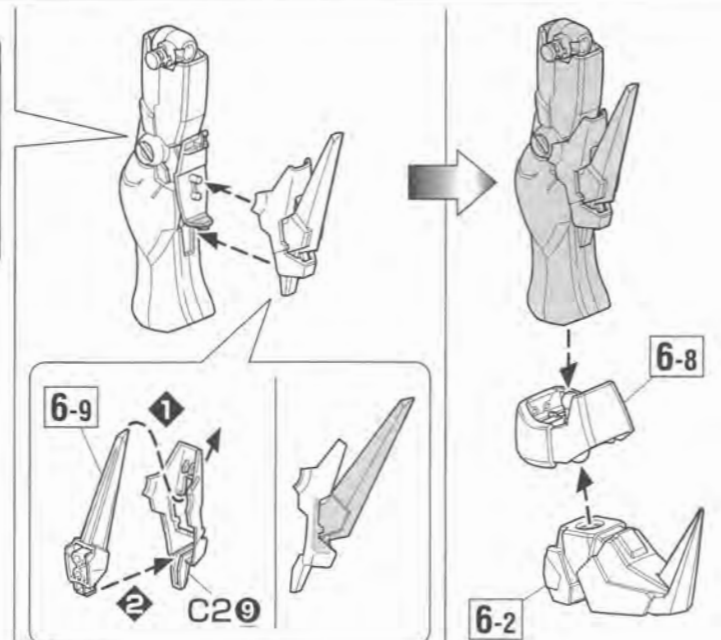
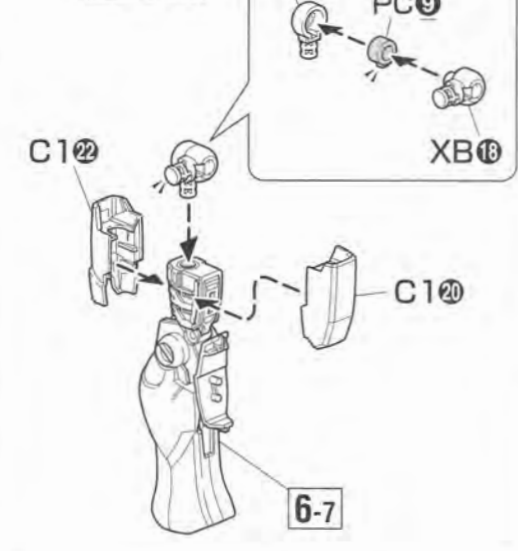
6-10 RIGHT LEG

(右足の組立)



7 LEFT LEG

(左足の組立)

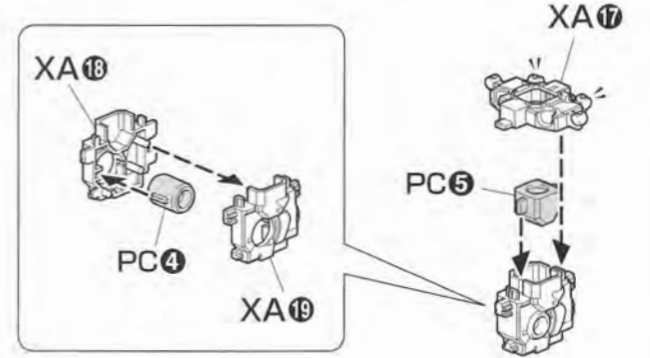


8 WAIST



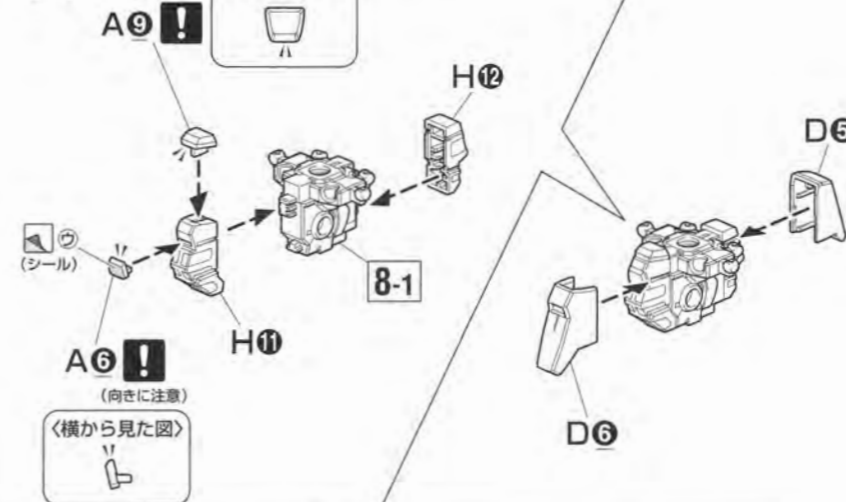
8-1 WAIST

(腰部の組立)

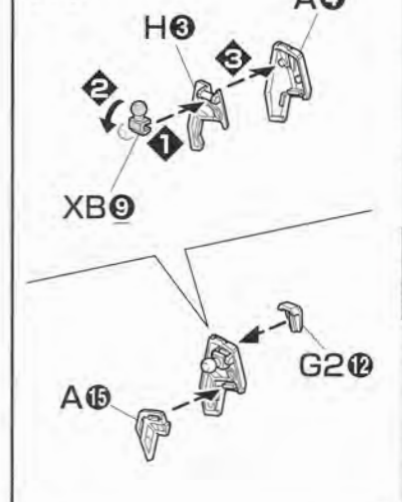


8-2

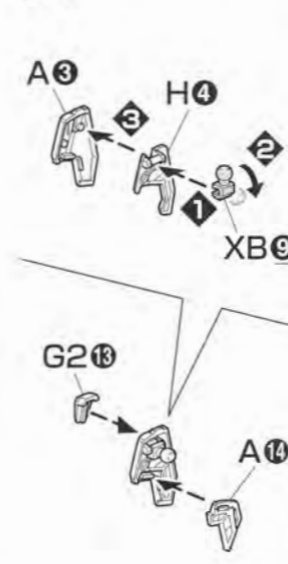
(向きに注意) <上から見た図>



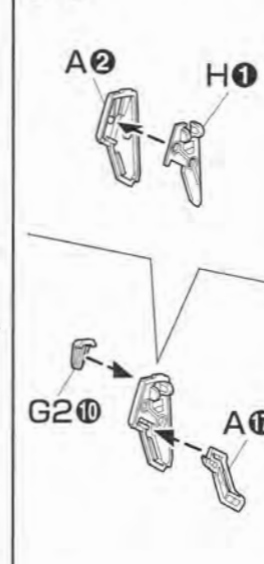
8-3



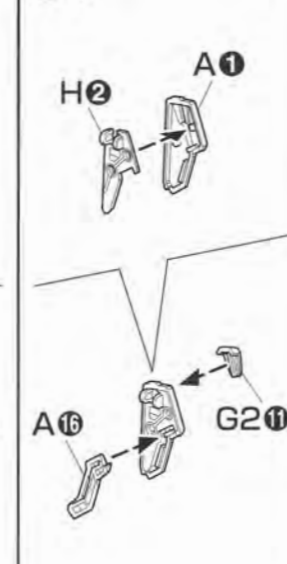
8-4



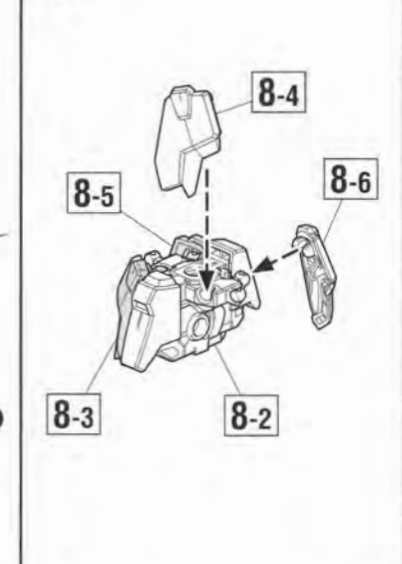
8-5



8-6

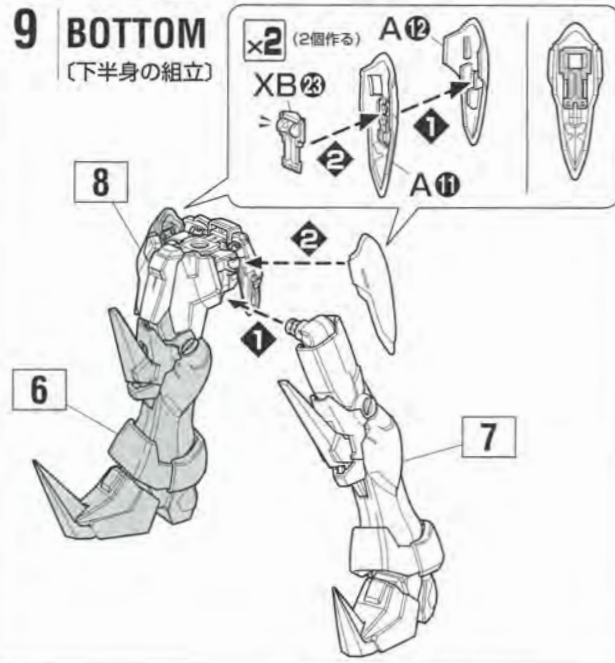


8-7

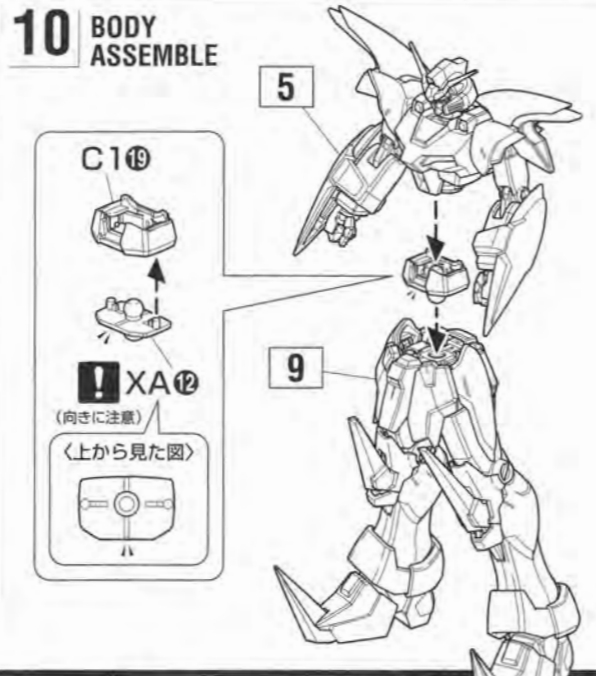


9 BOTTOM

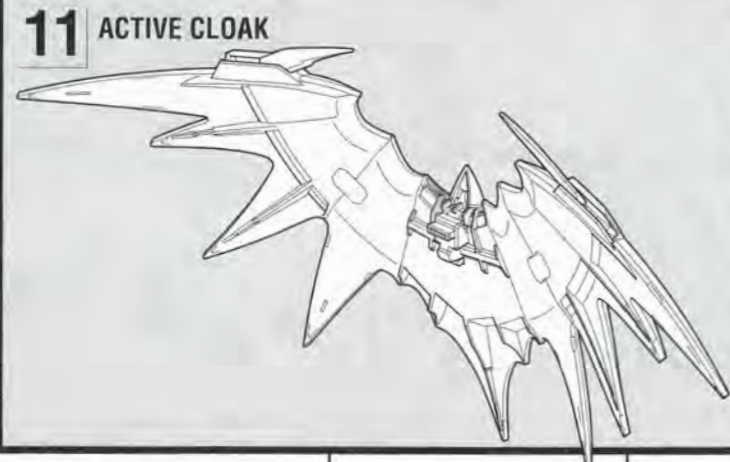
(下半身の組立)



10 BODY ASSEMBLE

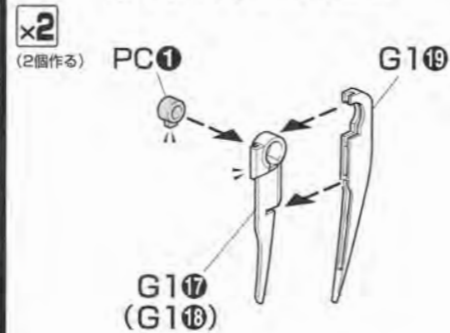


11 ACTIVE CLOAK



11-1 ACTIVE CLOAK

(アクティブクロークの組立)



11-2 RIGHT SIDE

(右側)



11-3

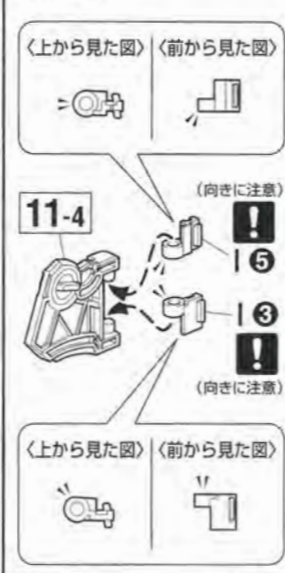


11-4 LEFT SIDE

(左側)

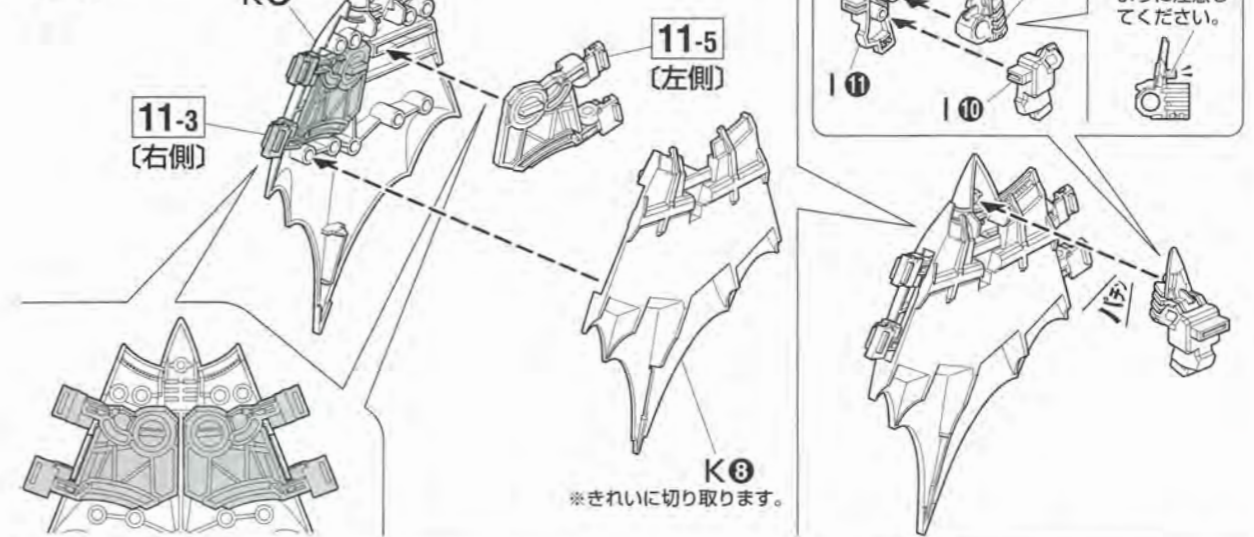


11-5

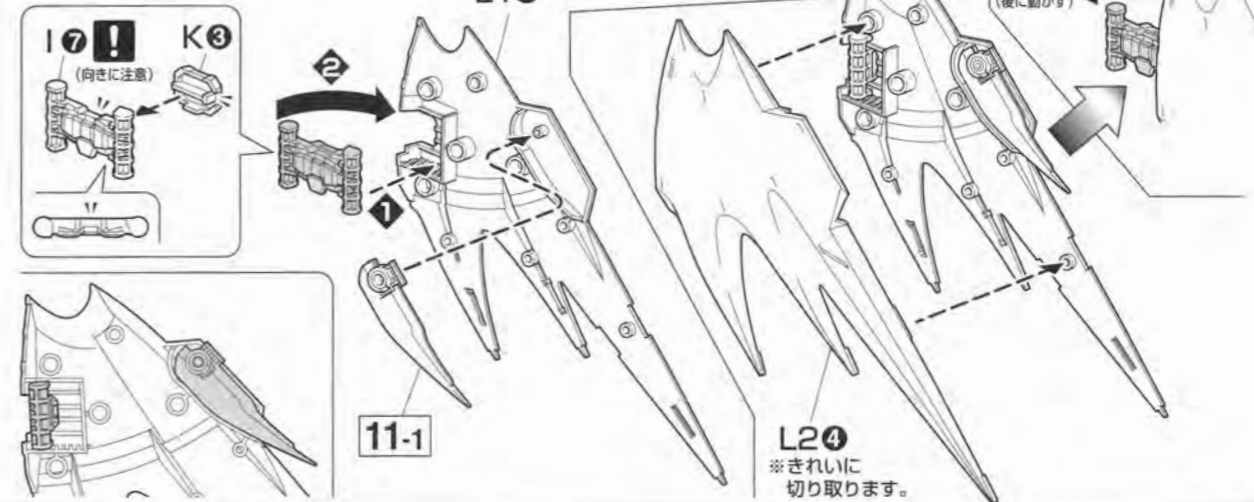


11-6

※きれいに切り取ります。

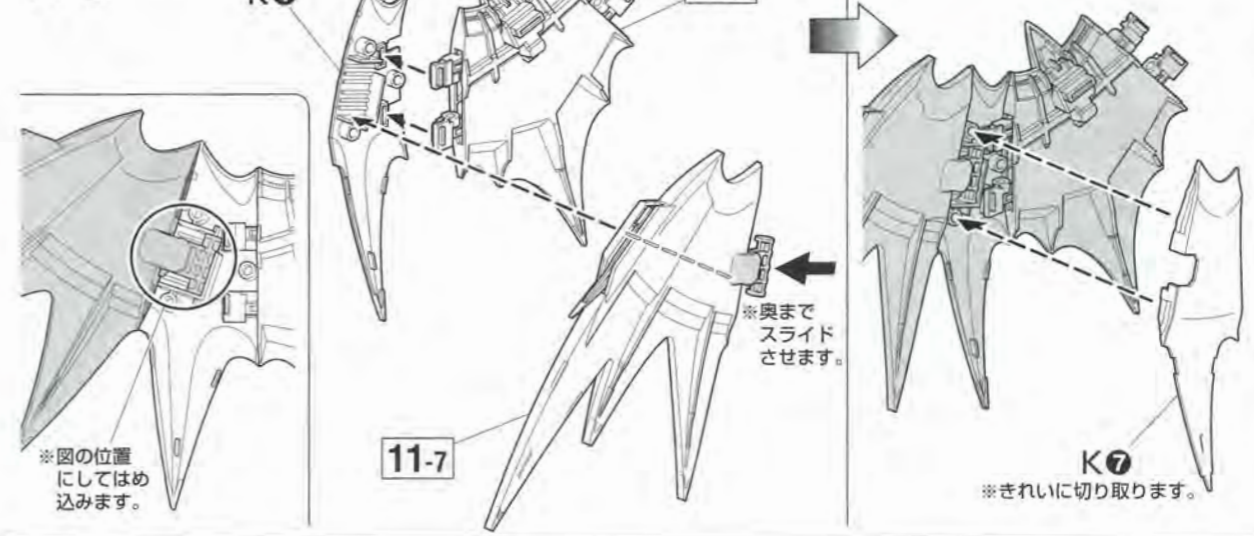


11-7



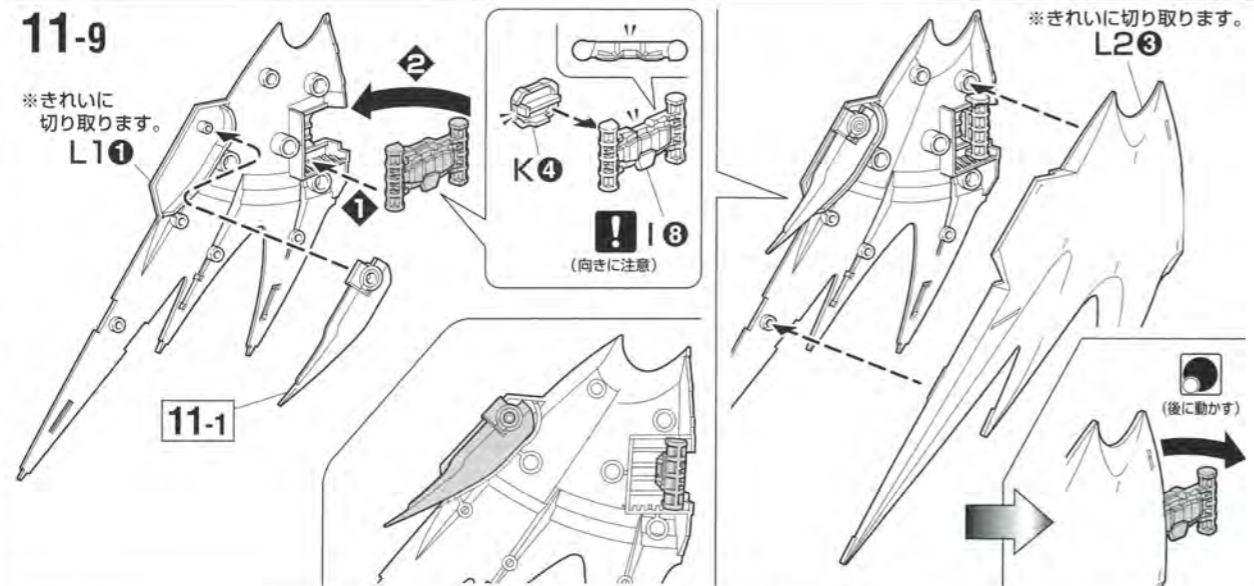
11-8

※きれいに切り取ります。

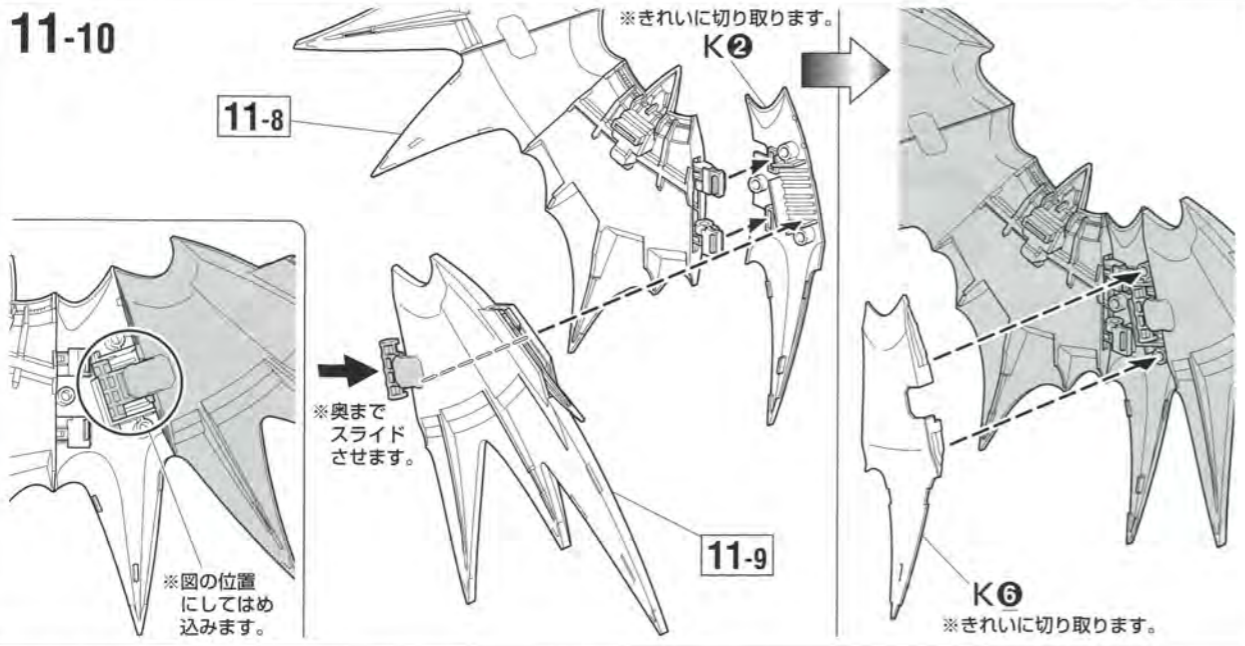


11-9

※きれいに切り取ります。
L1⑩

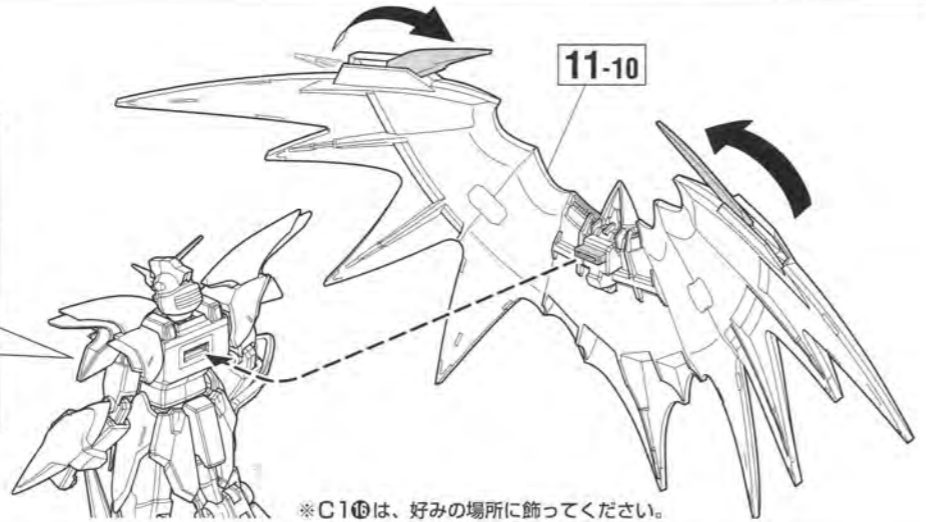


11-10



11-11

〈コクピットハッチの開け方〉

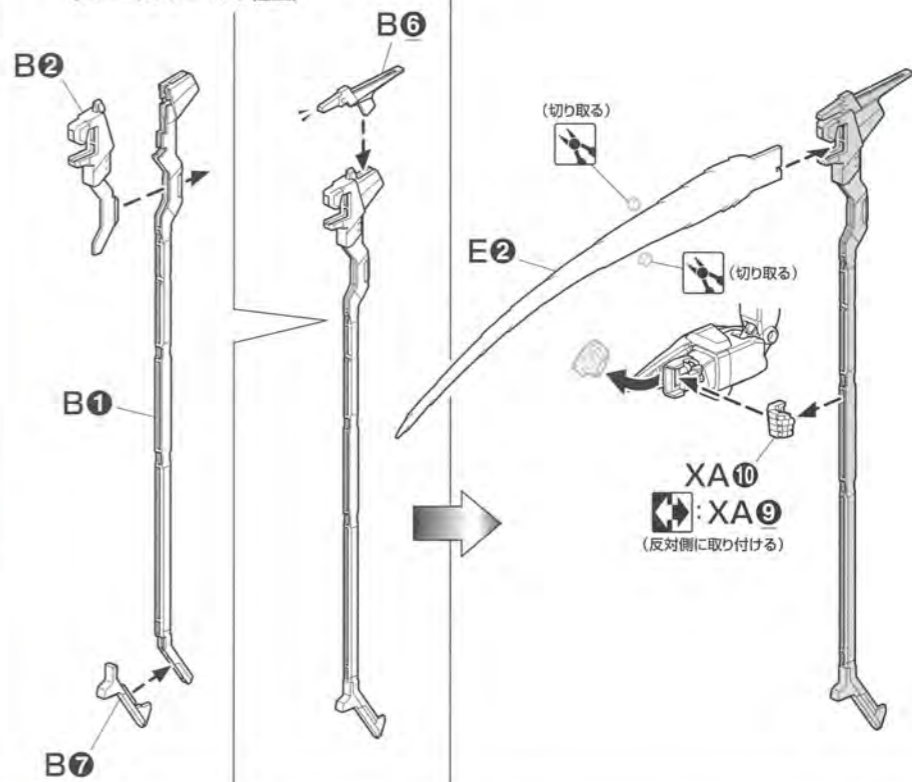


12 WEAPON



12 BEAM SCISSORS

〔ビームシザーズの組立〕

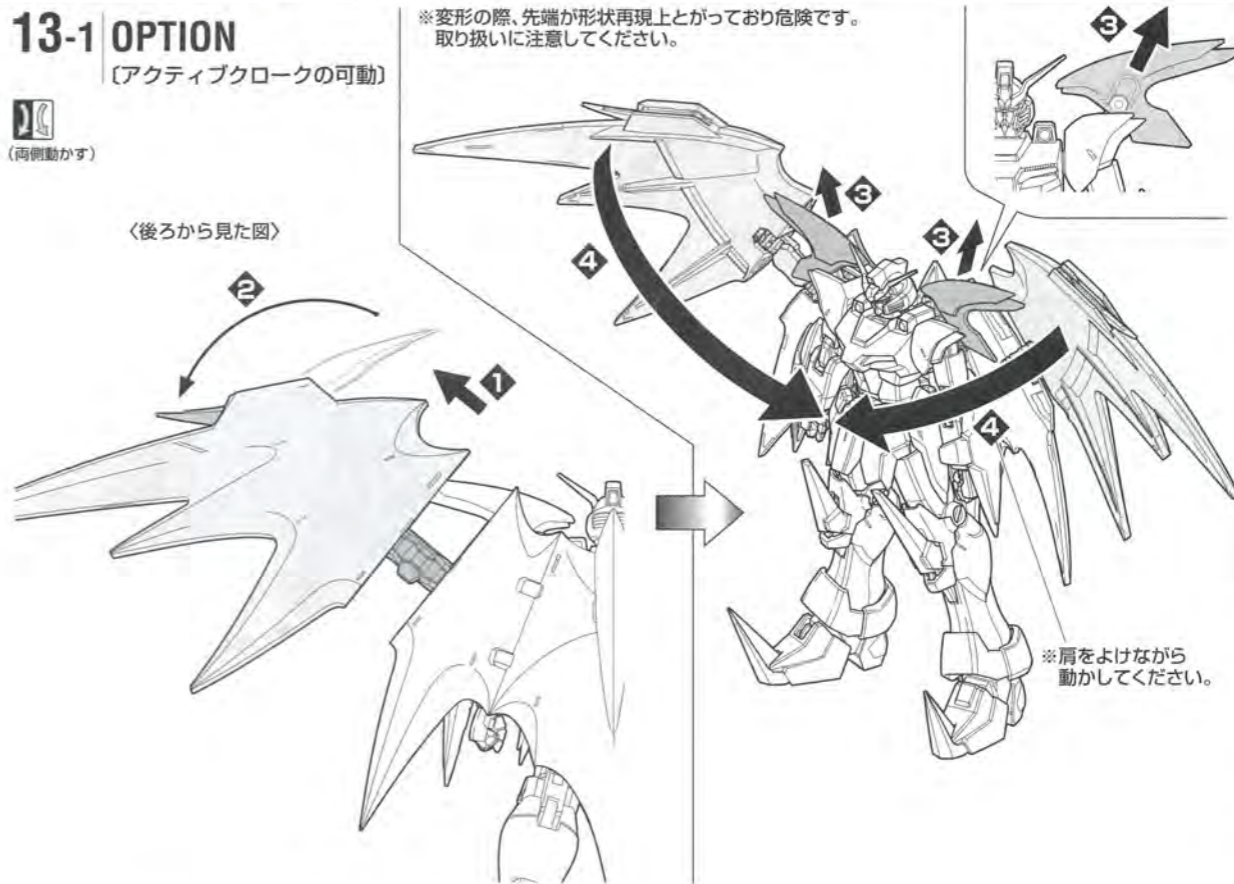


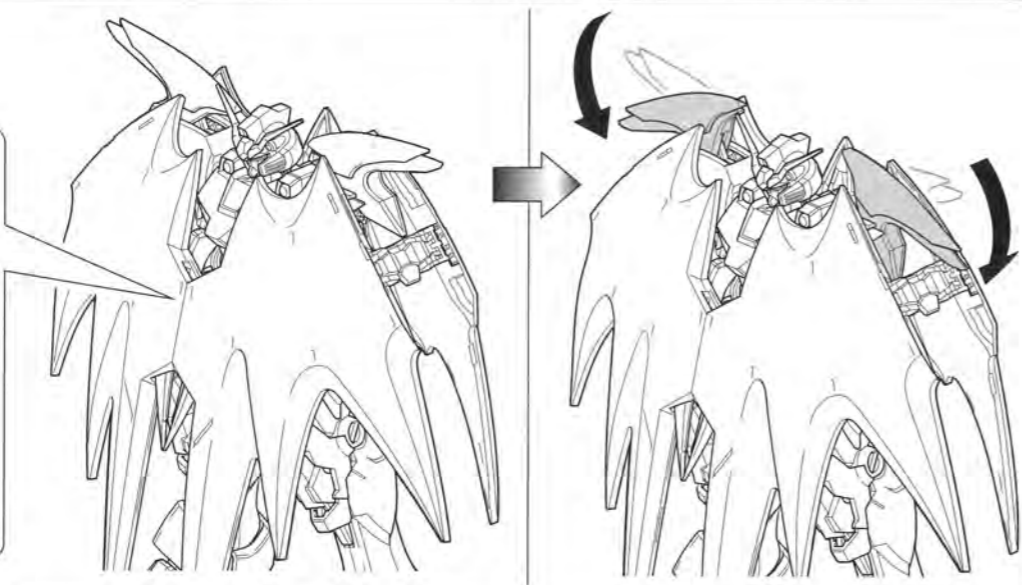
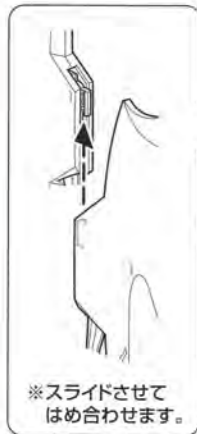
13-1 OPTION

〔アクティブクロークの可動〕



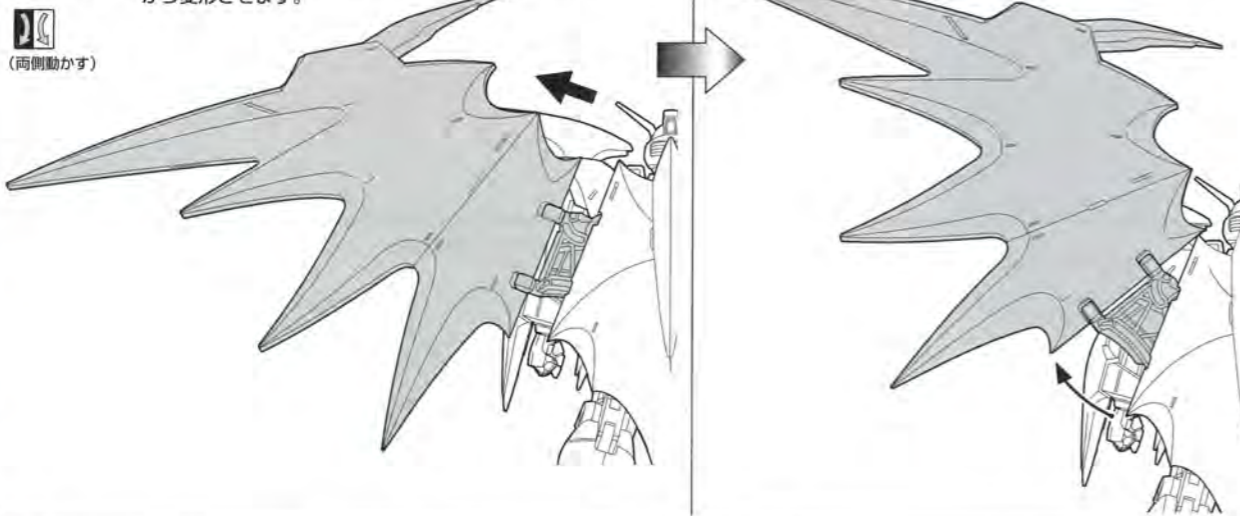
※変形の際、先端が形状再現上とがっており危険です。取り扱いに注意してください。



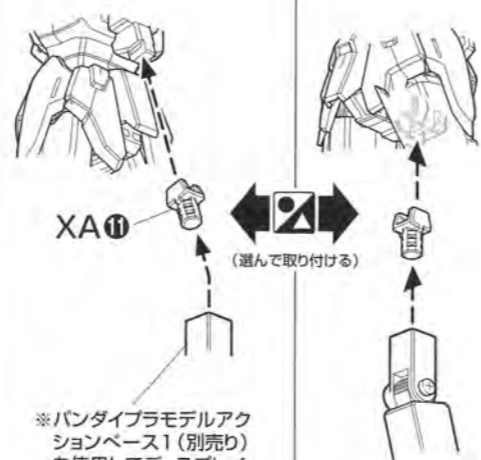
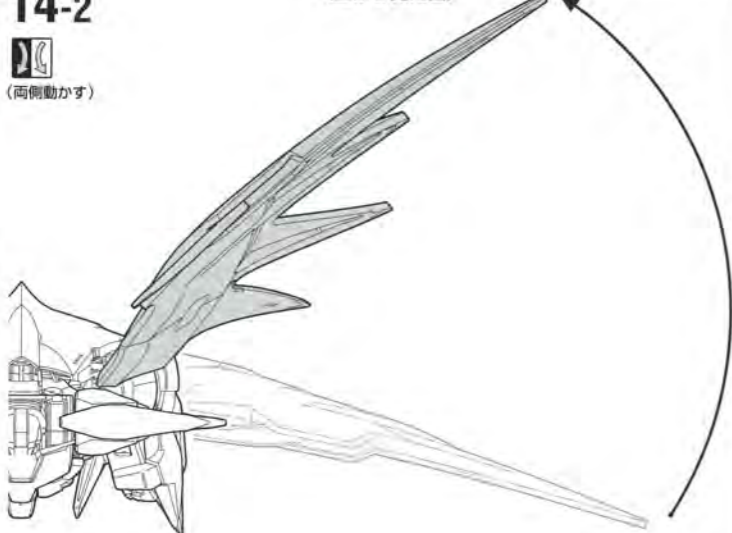


※P16 11-11 の状態に戻してから変形させます。

〈後ろから見た図〉



〈上から見た図〉



※バンダイプラモデルアクションベース1 (別売り) を使用してディスプレイすることができます。

Seal

〈シール〉 下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

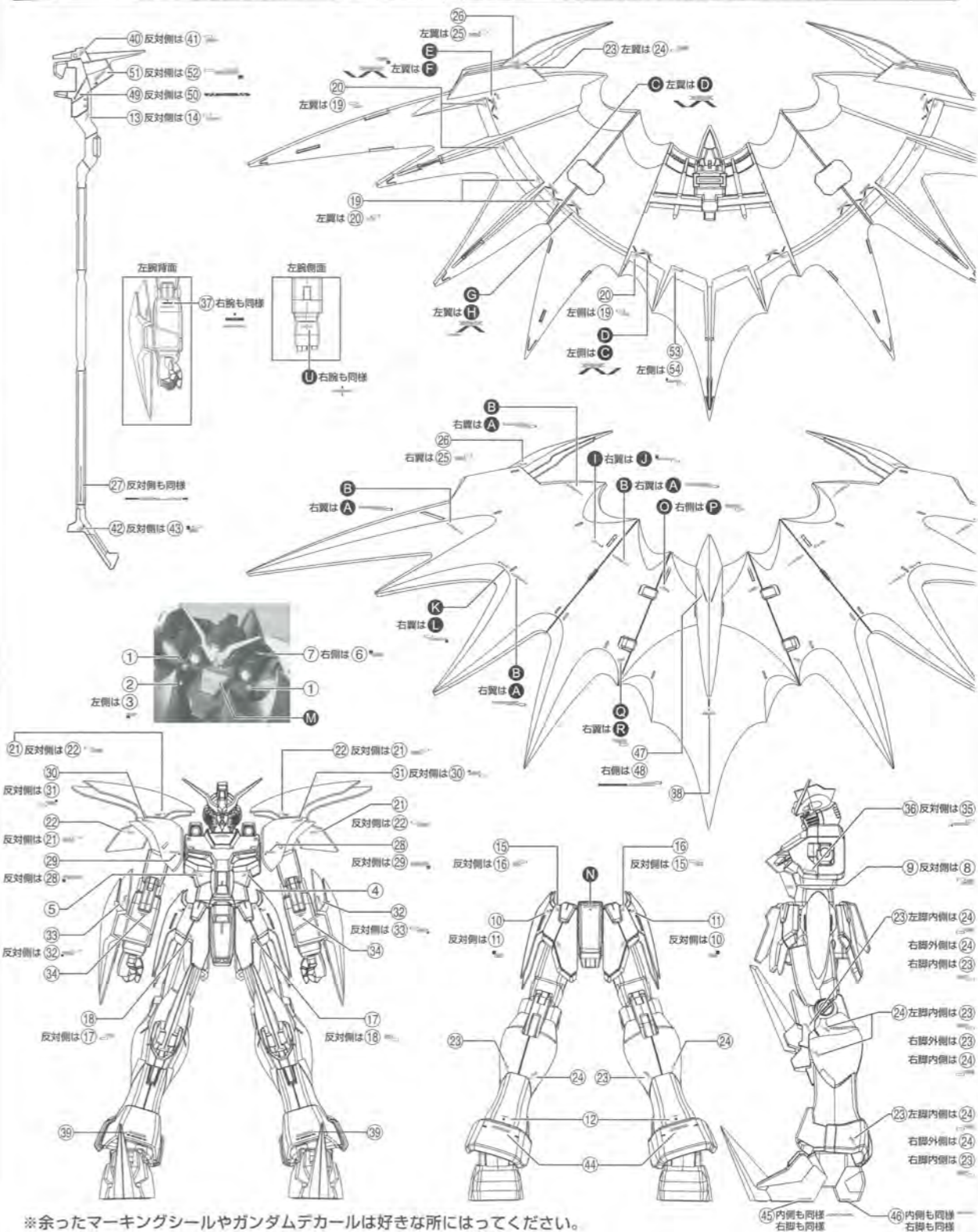
【ガンダムデカールの貼りかた】

※P3のガンダムデカールの貼り方を参考に、あせらずゆっくり貼ってください。

1. 転写するマークを大きめに切り取ります。
2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすり取ります。

マーキングシールは「数字」、ガンダムデカールは「英字」で表記してあります。
【例】 ①・・・マーキングシール A・・・ガンダムデカール

このマーキングシール及びガンダムデカールはプラモデルオリジナルのもので、貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。



※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所にはってください。